

子供の未来応援国民運動の展開について

— 貧困の連鎖の解消を目指して —



平成27年10月19日
内閣府子供の貧困対策推進室

目次

I. 全体の概要

1. 主な経緯・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2
2. 子供の未来応援国民運動の始動・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3
3. 子供の未来応援国民運動推進事務局の設置・・・・・・・・・・・・ 4
4. 子供の未来応援国民運動のシンボルマーク等・・・・・・・・・・・・ 5

II. 子供の未来応援国民運動ホームページ

1. 支援情報ポータルサイト・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 7
2. マッチングサイト・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 10
3. 子供の未来応援基金のページ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 11
4. その他のコンテンツ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 12

III. 子供の未来応援基金

1. コンセプト及び事業概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 14
2. 未来応援ネットワーク事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 15
3. 子供の生きる力を育むモデル拠点事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 16
4. 管理運営体制・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 17
5. 寄付の方法・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 18

I 全体の概要

I 全体の概要 — 主な経緯 —

平成25年

6月26日 子どもの貧困対策の推進に関する法律 公布（全会一致で可決成立）

平成26年

1月17日 子どもの貧困対策の推進に関する法律 施行

8月29日 子供の貧困対策に関する大綱 閣議決定

子供の貧困対策に関する大綱 第6 施策の推進体制等 3 官公民の連携・協働プロジェクトの推進

子供の貧困対策が国を挙げて推進されるよう、国、地方公共団体、民間の企業・団体等によるネットワークを構築し、各種支援情報等の収集・提供や子供の貧困対策に関する優れた取組等に対する表彰事業の実施、民間資金を活用した支援など官公民の連携・協働プロジェクトを推進する。また、このような取組や既存の制度・施策等について積極的に情報発信し、国民の幅広い理解と協力の下に子供の貧困対策を国民運動として展開する。

平成27年

4月2日 子供の未来応援国民運動 発起人集会（趣意書の採択）

子供の未来応援国民運動 趣意書(抄)

II 国民運動事業の例

- ② 支援活動と支援ニーズとのマッチング事業 企業・団体が行っている支援活動と地域における様々な支援ニーズとをマッチング
- ④ 支援情報の一元的な集約・提供 各種支援情報の総合的なポータルサイトの整備
- ⑤ 民間資金を核とする基金創設の検討 地域に根差した学習支援、生活支援等を行う支援団体への助成

III 国民運動事業の展開に向けた広報・募金活動

国、地方公共団体、民間の企業・団体等による応援ネットワークを構築し、民間資金を核とする基金の活用等を通じて、各種支援事業を展開します。

8月28日 子供の貧困対策会議(国民運動の始動の時期等を了承)

10月1日 子供の未来応援国民運動 始動

ホームページ(支援情報ポータルサイト、マッチングサイト等)の開設、基金への募金受入れ開始

年度内 広く基金への理解と協力を求めるためのイベント等の開催を予定

Ⅰ 全体の概要 —子供の未来応援国民運動の始動—

子供の未来応援国民運動 推進事務局

内閣府、文部科学省、厚生労働省及び日本財団を中心に構成

子供の未来応援国民運動 ホームページの開設

① 支援情報ポータルサイト 情報を届ける

国、都道府県、市町村等の支援情報が検索できる支援情報ポータルサイト

② マッチングサイト 連携を促す

企業等による支援と、NPO等の支援ニーズをつなぐマッチングサイト

③ 子供の未来応援基金のページ 支援を募る

基金の事業概要等を紹介し、寄付をすることができる仕組みを構築

子供の未来応援基金の創設

① 未来応援ネットワーク事業

草の根で支援を行うNPO等に対して支援を実施

② 子供の生きる力を育むモデル拠点事業

子供たちの居場所となる拠点を整備し、「生きる力」を育むプログラムを提供

※民間資金による基金事業とともに、国も、自治体等への支援を検討

国、自治体、民間の企業・団体等による応援ネットワークの形成

官公民の連携・協働により、すべての子供たちが未来に夢と希望を抱き、安心して暮らせる社会へ

I 全体の概要

－子供の未来応援国民運動推進事務局の設置－

本年4月2日に採択された「子供の未来応援国民運動」趣意書に基づく国民運動を推進するため、内閣府、文部科学省、厚生労働省及び公益財団法人日本財団を中心に構成された「子供の未来応援国民運動推進事務局」(以下「事務局」という。)を設置する。

事務局の所在・連絡先窓口

【所在】

子供の未来応援国民運動推進事務局(10月1日設置)(合同庁舎8号館8階)

【連絡先窓口】

○国民運動全般に関する事項、ポータルサイト等個別の事業に関する事項
(基金に関する事項を除く)

内閣府子供の貧困対策推進室(10月1日設置)

(電話)03-6257-1438 (メール)kodomonomiraiouen@cao.go.jp

○基金に関する事項

公益財団法人日本財団コールセンター

(電話)03-6229-5111 (メール)cc@ps.nippon-foundation.or.jp

I 全体の概要

—子供の未来応援国民運動のシンボルマーク等—



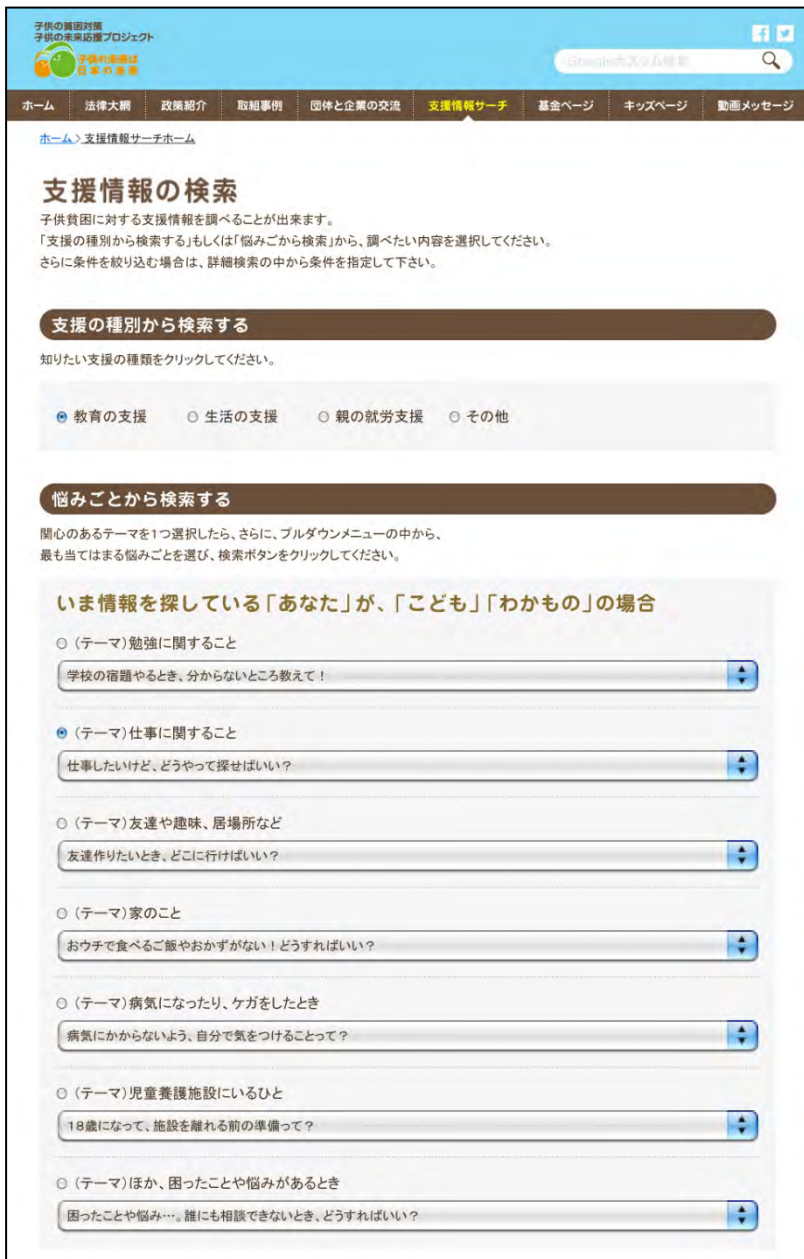
シンボルマーク

大人が子供に寄り添いながら、優しくその手を握りしめることで、一緒に未来を築いていこうとする姿を表したものの。

キャッチフレーズ

貧困の連鎖を解消し、子供たち一人ひとりが未来に向けて夢と希望を描ける社会を実現することが、日本の明るい未来につながるという意味を込めたもの。

Ⅱ 子供の未来応援国民運動 ホームページ



目的

支援を必要とする方に、必要な支援(情報)を届ける

➤ 国、都道府県、市町村等が行う子供の貧困対策(支援情報)を一元的に集約し、地域別、属性等別、支援の種類別に検索できる総合的な支援情報ポータルサイトを整備

➤ 当事者自身はパソコン等を有していない可能性もあり、主にその支援者が、当事者から相談を受けながら、必要な支援をコーディネートするための利用を想定

➤ 当事者へ配慮し、「進学したいけどお金がない」、「お腹が空いたけど食べ物を買うお金がない」等、当事者が有する具体的な悩みごとからも支援情報が検索可能

機能

➤ 中央省庁、都道府県及び政令市の施策を合わせて約2000施策を掲載(27年10月1日現在)
28年度当初には全市区町村の支援情報を掲載予定

➤ 支援の種類、悩みごとの種類(計60を設定)、フリーワード、施策の実施主体から検索が可能

【いま情報を探している「あなた」が、「こども」「わかもの」の場合】

（勉強に関すること）

「学校の宿題やる時、分からないところ教えて！」
「勉強道具や学校の制服が無い！買うお金も無い！どうすればいい？」
「高校や専門学校・大学行きたいけど、受験勉強のしかた教えて！」
「高校や専門学校・大学行きたいけどお金無いとき、どうすればいい？」

（仕事に関すること）

「仕事したいけど、どうやって探せばいい？」
「面接を受けたいけど履歴書やスーツ、化粧品がない、どうすればいい？」
「面接を受けたいけど子供の面倒をみってくれる場所もない！
どうすればいい？」
「仕事に要る資格とりたいけどお金がない！どうすればいい？」

（友達や趣味、居場所など）

「友達を作りたいとき、どこに行けばいい？」
「お金かけないで趣味や習い事をしたいとき、どうすればいい？」
「放課後、一人ぼっちでさびしいとき、どうすればいい？」

（家のこと）

「家で食べるご飯やおかすがない！どうすればいい？」
「生活のための家具・家電が無くて困ってる！」
「家族や一緒に住んでいる大人のこと困ってる！」
「叩いたり、嫌なことをしてくる大人がいる、どうすればいい？」
「家に居づらく、今日ねる場所がない！どうすればいい？」
「住む家がありません、どうすればいい？」

（病気になったり、ケガをしたとき）

「病気にかからないよう、自分で気をつけることって？」
「病気だけど（ケガをしたけど）、保険証やお金がないとき、どうすればいい？」

（児童養護施設にいるひと）

「18歳になって、施設を離れる前の準備って？」
「施設を離れた後の、仕事や住む場所、どうやって探すの？」
「施設を離れた後も、勉強したい人はどうすればいい？」

（ほか、困ったことや悩みがあるとき）

「困ったことや悩み…。誰にも相談できないとき、どうすればいい？」
「同じ悩みを持った仲間っていますか？」
「法律の相談をしたいときって、どうすればいい？」
「外国籍で日本語が良く分からない。どうすればいい？」
「近所でいろいろ相談できる機関を教えて！」

【いま情報を探している「あなた」が、「おや」「おとな」の場合】

（妊娠・出産、幼児の子育て中の悩み）

「お腹に赤ちゃんができたけど、お金がない。どうすればいい？」
「赤ちゃんが産まれたけど、お金がない。どうやって育てればいい？」
「赤ちゃん育てる悩みを相談できる『ママ友』『パパ友』作るには？」
「赤ちゃん（子供）が病気？保険証もお金も無いけど、どうすればいい？」
「保育所や幼稚園へ通わせたいけどお金がないとき、どうする？」

（子供が小・中学生の方の悩み）

「今度、子供が小学校（中学校）に通うのですが、文房具や制服を買うお金がない。どうすればいい？」
「生活が苦しくて、学校の給食費を払えない。どうすればいい？」
「お金が無くて、子供を修学旅行に参加させられない。何とかしたいけど、どうすればいい？」
「放課後、子供が家でひとりぼっち、さびしそう。お友達を作れるところってない？」
「生活が苦しいけど、子供に趣味や習い事を経験させたい。誰か教えてくれる方いない？」
「子供が不登校（ひきこもり）。誰か相談できる人いませんか？」
「子供が学校に行かなくなっちゃった。他にどこか勉強できる場所はない？」

（子供が高校生以上の方の悩み）

「高校に進学させたけど、学費が払えなくなったらどうすればいい？」
「高校に行かなかった（中退した）子供に、高卒資格を取らせるには？」
「お金がないけど、子供を大学（専門学校）に行かせたいときって、どうすればいい？奨学金って、どういう制度がある？」
「子供が働かない（働けない）。仕事につかせるにはどうすればいい？」

（生活費の悩み）

「ひとり親だけど、児童扶養手当って、どういう制度なの？」
「生活保護って、どういう制度なの？」
「お金に困ったとき、無利子で安心してお金借りられるところって？」
「お金が無くても、生活用品や衣類を上手にそろえるには？」

（家の悩み）

「家賃を滞納してしまい、大家さんに出て行くよう言われていますが、行くところがない。どうすればいい？」
「暴力をふるう元パートナーから逃げています。元パートナーから離れて、子供と安心して暮らせる住まいはない？」

（食事の悩み）

「お金に困って、子供に栄養のある食事用意できません。どうすればいい？」
「安くておいしい食事の調理のしかた、誰か教えてくれない？」

（仕事の悩み）

「子育てでブランクもあって、良い仕事が見つからない。どこに相談すればいい？」
「高校を出ていないので、良い条件の仕事が見つからない。高卒資格を取りたいけど、どうすればいい？」
「夜働いているけど、子供の面倒をみってくれる場所、ない？」
「子供が病気になっても仕事を休めない。病気の子供を保育してくれる場所ってない？」

（ほか、困ったことや悩みがあるとき）

「困ったことや悩み…。だれにも相談できないとき、どうすればいい？」
「同じ悩みを持った仲間っていますか？」
「法律の相談をしたいときって、どうすればいい？」
「外国籍で日本語が良く分かりません。どうすればいい？」
「近所でいろいろ相談できる機関を教えてください！」

目的

企業等による支援と、NPO等の支援ニーズをつなぐ

草の根で活動する支援団体の多くが、運営基盤がぜい弱であること等に鑑み、民間同士で連携し、助け合えるきっかけをつくるため、双方向で情報を提供、収集できるマッチングサイトを開設

機能

- NPO等団体と企業は、マッチングサイトに登録の上、それぞれ支援要請内容、支援提供内容を登録
なお、登録時には利用規約及び留意事項への同意が必要
- 支援の要請内容、支援の提供内容、評価の高いユーザー(団体、企業)をそれぞれランキング形式にて表示(27年11月以降)
- メール機能やソーシャルメディアとの連携など、より効率的にマッチングできる機能を整備

未来の子供をつなぐサイト

「子供の貧困」支援に向けた
団体と企業の交流サービス、始動!

ログイン
新規登録

支援活動を行う 団体を探す
支援活動をサポートする 企業を探す

現在の登録数 → 企業 件 団体 件 交流数 → 件

Ranking
団体からの支援要請
ランキング

1位	人材派遣 (200件)
2位	食糧の給付(100件)
3位	食料の給付(100件)
4位	その他の物品給付(50件)
5位	スクールソーシャルワーカー(40件)
6位	職業訓練(20件)
7位	日常生活の上の援助(10件)

Ranking
企業からの支援提供
ランキング

1位	食糧の給付(256件)
2位	人材派遣 (116件)
3位	食料の給付(145件)
4位	スクールソーシャルワーカー(109件)
5位	その他の物品給付(54件)
6位	日常生活の上の援助(49件)
7位	職業訓練(9件)

評価の高いユーザーランキング

企業	団体
1位 全国法人ユニース	1位 社会法人ユニース
2位 内閣府商業株式会社	2位 内閣府商業株式会社
3位 NPO法人数蓮子	3位 NPO法人数蓮子

交流の多いユーザーランキング

企業	団体
1位 全国法人ユニース	1位 社会法人ユニース
2位 内閣府商業株式会社	2位 内閣府商業株式会社
3位 NPO法人数蓮子	3位 NPO法人数蓮子

新規登録ユーザ

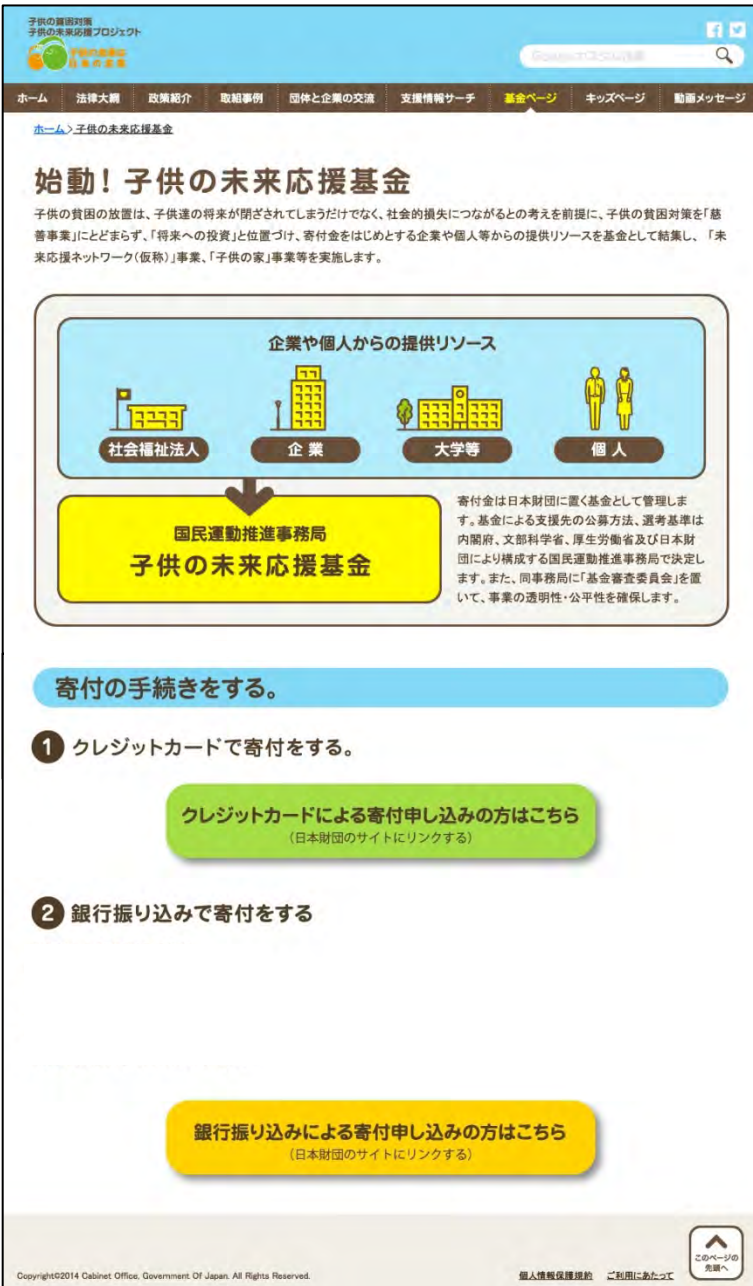
企業	団体
----	----

このマッチングサイトの使い方

Pick Up! 登録ユーザの支援と提供イメージを写真でみる

支援の提供 < [写真] [写真] [写真] [写真] [写真] >
企業の支援提供メニューを写真で見ると

支援の要請 < [写真] [写真] [写真] [写真] [写真] >
団体の支援要請メニューを写真で見ると



目的

国民に対し、基金への理解と協力を求める

貧困の連鎖を断ち切ることは、社会にとって「将来への投資」につながるという理念等について、国民に対し、理解と協力を求め、提供リソースを基金として結集するための情報発信

機能

- 基金のコンセプトや基金により実施する事業の紹介
 - 詳細は本資料 P13以降
- ホームページからの寄付の方法は以下の2通り。
 - ①クレジットカードによる寄付(日本財団のサイトへリンク)
 - ②銀行振り込みによる寄付(日本財団のサイトへリンクし領収書の発行が可能)
- その他、身近な金融機関からの直接振り込みも可能
- 寄付に対しては、寄付金控除や損金算入など、税制上の優遇措置が適用される

政策紹介

貧困家庭を救う 4つの支援

今と未来をみつめた貧困対策

貧困の状況にある子供を支援する「子どもの貧困対策の推進に関する法律」及び様々な「子供の貧困対策」は、今だけ見つめるものであってはなりません。貧困の状況下で育った子供が大人になっても貧困の状況から抜け出せないなど、いわゆる貧困の連鎖によって子供たちの将来が危ぶまれることは決してあってはなりません。「今」だけではなく、「未来」までみつめた官公民連携によるプロジェクト、それが子供の未来応援プロジェクトです。貧困の状況下にある子供に必要な支援が届くことを目指します。そして、新たに基金を設置し、草の根で活動するNPO等を積極的に支援するほか、子供たちの「生きる力」を育むための拠点を整備します。

個人情報保護規約

Copyright © 2015 Cabinet Office, Government Of Japan. All Rights Reserved.

キッズページ

夢にのって未来へ歩む子供を応援します!

政府が取り組んでいる子供の貧困対策は、「子供たちの将来への夢、応援プロジェクト」を進めています。「夢」は、すべての人がもつことのできる素敵な創造力です。好きなことや好きなことに思いっきりチャレンジする自分の将来像を描くことは生きる力にもなります。

あなたへの応援メッセージ

子供貧困対策とは?

夢にのって未来へ歩む子供...

社会はみんなを応援しています

個人情報保護規約

Copyright © 2015 Cabinet Office, Government Of Japan. All Rights Reserved.

応援メッセージ

子どもの未来への応援メッセージ

子供の未来を応援する方からメッセージを紹介しています。

Vol.1

前内閣府特命担当大臣(規制改革、少子化対策、男女共同参画)
有村 治子

子供の貧困に対して、自助、共助、公助のバランスある連携の仕組みにより、官民あげて子供の未来を応援し、日本を活力あるものにしていきたいと考えています。

視聴はこちら

Vol.2

旭化成取締役会長、日本経済団体連合会 審議員会副議長
伊藤 一郎さん

経済的に恵まれない幼少時代でしたが、自助努力と周囲の支援により、苦境を乗り越えることができました。

視聴はこちら

Vol.3

東北福祉大学特任教授、前茨城県高萩市長
草間 吉夫さん

児童養護施設から、大学進学を果たし、市長になることもできました。大事なことは常に夢を持ち、実現のために努力を続ける姿勢です。

視聴はこちら

Vol.4

元日本・東洋太平洋ライト級チャンピオン、SRSボクシングジム会長
坂本 博之さん

児童養護施設で過ごしていた頃、ボクシングと出会い夢を見つけました。今できることを一生懸命に取り組み周囲の人は必ず、応援してくれます。

視聴はこちら

個人情報保護規約

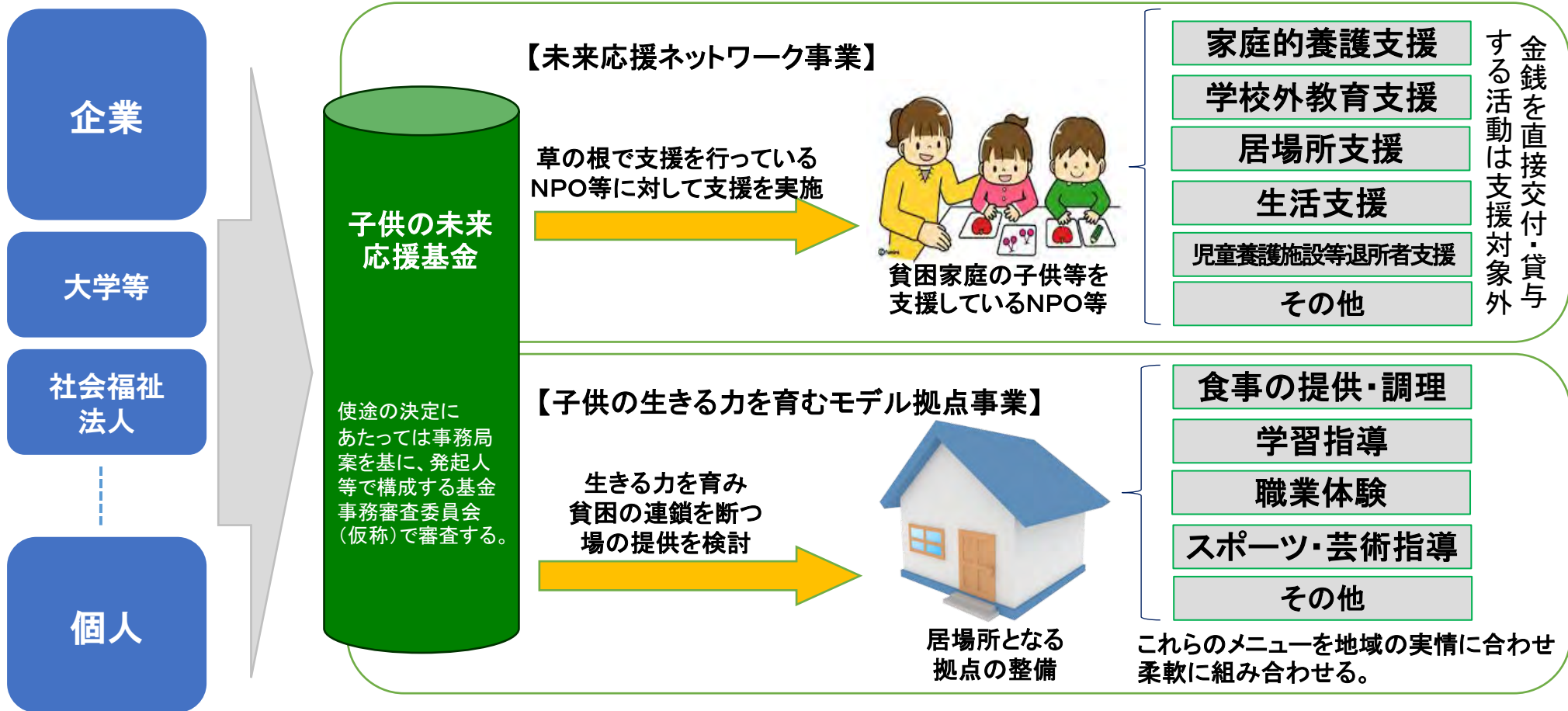
Copyright © 2014 Cabinet Office, Government Of Japan. All Rights Reserved.

Ⅲ 子供の未来応援基金

Ⅲ 子供の未来応援基金

—コンセプト及び事業概要—

子供の貧困の放置は、子供たちの将来が閉ざされてしまうだけでなく、社会的損失につながるとの考えを前提に、子供の貧困対策を「慈善事業」にとどまらず、「将来への投資」と位置づけ、寄付金をはじめとする企業や個人等からの提供リソースを基金として結集し、「未来応援ネットワーク」事業等を実施する。



※草の根で支援を行っているNPO等に対して支援を行うにあたっては、民間資金による基金事業とともに、国としても、地方公共団体の取組等への支援を検討

Ⅲ 子供の未来応援基金

— 未来応援ネットワーク事業 —

貧困の状況にある子供等に寄り添って草の根で支援を行っているNPO等に対して支援を行い、社会全体で子供の貧困対策を進める環境を整備する。

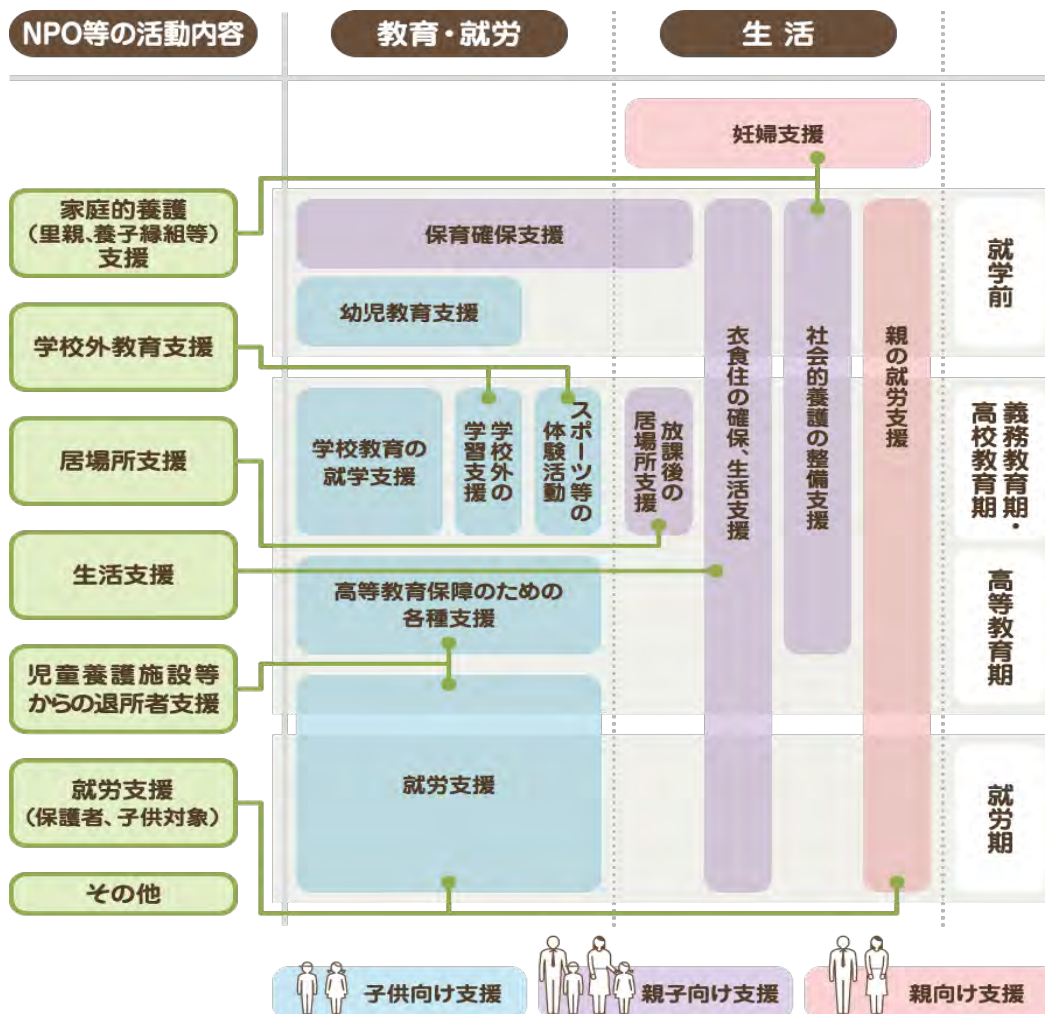
子供の未来応援基金



貧困家庭の子供等を支援しているNPO等

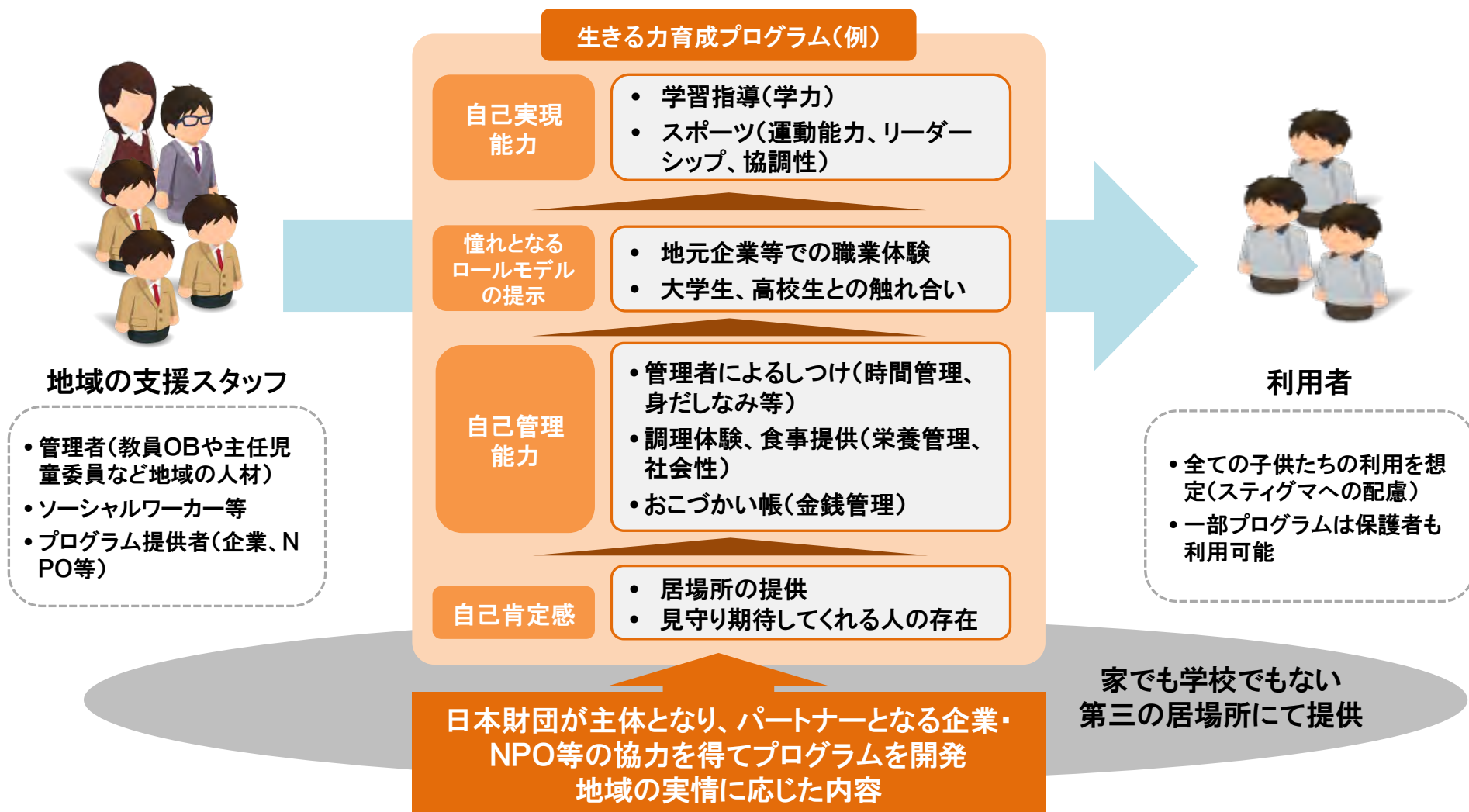


金銭を直接交付・貸与する活動は支援対象外



Ⅲ 子供の未来応援基金 —子供の生きる力を育むモデル拠点事業—

子供の生きる力を育むモデル拠点事業では、子供たちの居場所となる拠点を整備し、「生きる力」を育むプログラムを、地域の支援スタッフが子供たちに提供する。



Ⅲ 子供の未来応援基金

—管理運営体制—

概要

寄付金は、日本財団に置く基金として管理。公募方法、選考基準については、国民運動推進事務局で決定。さらに、事務局に「基金事業審査委員会（仮称）」を置き、基金運営の透明性・公平性を確保する。

国民運動推進事務局

【構成】内閣府、文科省、厚労省、日本財団
(業務によって他の主体が加わる可能性あり)

【主な任務】

- ①基金を含む国民運動事業全体の企画立案及び推進
- ②基金を含む国民運動事業全体の広報の企画及び実施
- ③支援情報の一元的な集約・提供(ポータルサイトの運営等)
- ④支援活動とニーズのマッチング事業(マッチングサイトの運営等)
- ⑤未来応援ネットワーク事業における公募の実施
- ⑥未来応援ネットワーク事業における支援先及び支援内容の選考基準等の作成

基金事業審査委員会(仮称)

主に次の事項を審査する。

- ①未来応援ネットワーク事業による支援先及び支援内容等
- ②子供の生きる力を育むモデル拠点事業における拠点の設置先

日本財団

子供の未来応援基金

未来応援ネットワーク 事業

NPO等が草の根で実施している子供の貧困対策事業に対し、新規事業立ち上げ・基盤強化を目的として資金提供を実施

子供の生きる力を育む モデル拠点事業

行政や支援団体単独では実施困難な施策を、民間の資金・ノウハウを活用し、日本財団が主体となって実施

Ⅲ 子供の未来応援基金

—寄付の方法—

1. 国民運動ホームページからのアクセス(本資料P11参照)

① クレジットカードによる寄付

日本財団のサイトへリンクし、クレジットカードによる寄付が可能

② 銀行振り込みによる寄付

日本財団のホームページへリンクし、
銀行振り込みの方は、領収書の発行が可能

銀行名:三菱東京UFJ銀行

支店:本店

預金種別:普通預金

口座番号:1660800

口座名:公益財団法人日本財団

口座名(カナ):ザイニッポンザイダン

2. 身近な金融機関からの直接振り込み

お近くの金融機関からの右専用口座へ直接振り込みも可能

◆ 寄付に対する税制上の優遇措置(詳細は日本財団のホームページ参照)

○ 個人による寄付: 寄付金は、「税額控除」か「所得控除」のいずれか有利な方を寄付者が選択し、寄付金控除を受けることができる。

(1)税額控除の計算 $(\text{寄付金合計額} - 2,000\text{円}) \times 40\% = \text{寄付金控除額}$

(2)所得控除の計算 $(\text{寄付金合計額} - 2,000\text{円}) \times \text{所得税率} = \text{寄付金控除額}$

(※寄付金合計額や寄付金控除額の限度額については、日本財団ホームページ参照。)

○ 法人による寄付: 寄付金は、一般の寄付金とは別枠で、以下の金額を限度として損金算入することができる。

$\text{損金算入限度額} = (\text{資本金等の金額} \times 0.375\% + \text{所得金額} \times 6.25\%) \div 2$

(※資本金等の金額は、資本の金額と資本積立金の合計額を指す。)